

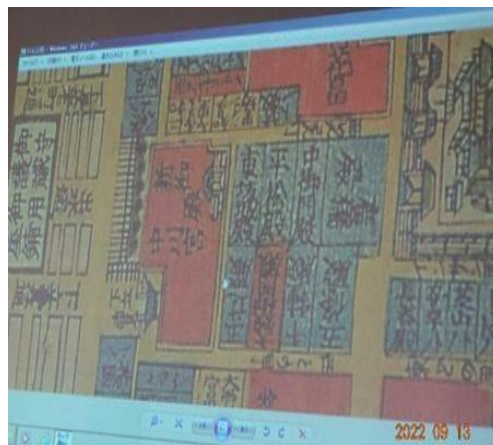
2022年9月13日

講座名は第11回、配布資料は第11回薩長同盟成立となっていますが、講義内容は池田屋事件の詳細、禁門の変、水戸天狗党の乱でありました。

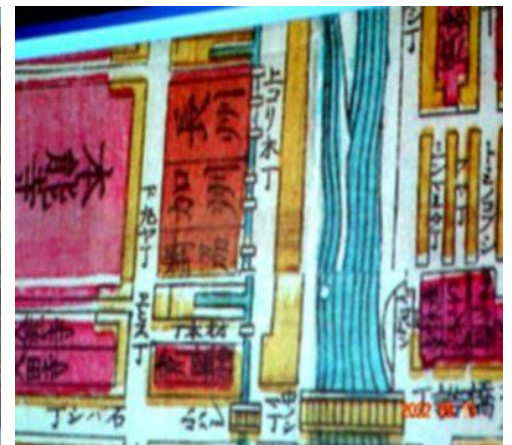
1. 元治元年（1864）6月4日長州藩毛利家は世子定広の京都への進発を決めた。これは中川宮を幽閉し、会津の松平容保らを殺害しようとする、いわばテロリズムである。
  2. 元治元年（1864）6月5日池田屋において、密会中の尊王攘夷派浪士を新選組の一団が襲った。いわゆる池田屋事件である。当夜以後市中で長州屋敷職員や浪士などの殺害や逮捕が相次いだ。
  3. 池田屋の主人古高俊太郎は長州藩、毛利家とかかわりの深い人物であった。
  4. 活躍したのは新選組であるが、背後には会津藩、桑名藩があり、最高責任者は一橋家の徳川慶喜である。襲撃が遅延したのは、上層部の支持を得るのに時間をようしたためである。
  5. 町民の中には、会津が悪い、長州が町民を豊かにしている、という長州ひいきもかなりいた。
  6. 元治元年（1864）7月19日禁門の変（蛤御門の変）発生。八月十八日の政変で京都を追放された長州藩勢力が挙兵した。当初は長州藩と会津藩の私闘と見られていた。
  7. 優柔不断であった慶喜が天子に対して長州追討を奏請し、勅命が下った。これで謀反人毛利家を官軍が征討する姿になった。
  8. 戦闘は伏見、洛西嵯峨、蛤御門、山崎天王山などで行われたが、いずれも長州勢が敗走した。
  9. この時期、元治元年（1864）江戸では水戸藩内外の尊王攘夷派が、筑波山で挙兵した（天狗党の乱）。
  10. 元治元年（1864）7月11日、「彦根遷座」を主張した佐久間象山が殺害された。
- 地図で事件の様子を説明



禁裏御所付近の地図



中川宮付近の地図



長州屋敷、高瀬川にかかる三条小ハシ